

令和6年度 邑楽町行政評価結果一覧表（第五次行政改革大綱施策評価（個別シートは総合計画施策評価参照））

基本 目標	基本施策（番号：総合計画施策番号）	具体的事業 取組状況 （PD）	KPI 進捗 （D）	KPI 課題捉方 （C）	KPI 改善方法 （A）	総合評価
1	町民と歩む協働のまち					
	(37)地域コミュニティ活動の推進	41.67	30.00	9.44	8.89	90.00点
	(38)情報共有と町民参画の推進	45.83	26.25	7.78	8.06	87.92点
	(39)協働のまちづくりの推進	50.00	26.25	8.89	8.75	93.89点
2	信頼に応える行財政運営のまち					
	(40)ICT（情報通信技術）の推進	46.88	30.00	9.03	8.61	94.52点
	(41)効率・効果的な行政運営の推進	43.75	18.75	7.50	8.47	78.47点
	(42)財政運営の健全性の確保	40.63	30.00	9.44	9.44	89.51点
	(43)広域行政の推進	45.83	22.50	8.19	9.03	85.55点
		/50点	/30点	/10点	/10点	/100点
平均		44.94点	26.25点	8.61点	8.75点	88.55点

令和6年度 邑楽町行政評価シート（邑楽町第六次総合計画後期基本計画・第2期邑楽町まち・ひと・しごと創生総合戦略・第五次邑楽町行政改革大綱 施策評価シート）

総合計画分類	基本目標	基本目標4時代の変化に対応し町民に信頼されるまちづくり	SDGs					
	基本方針	基本方針11町民と歩む協働のまち	 16 平和と公正をすべての人に	 17 パートナシップで目標を達成しよう	 目標1 町民と歩む協働のまち	 目標2 食料と農業の持続可能性を確保しよう	 目標3 健康と福祉を確保しよう	
	基本計画	__37__ 地域コミュニティ活動の推進						
総合戦略分類	基本目標		改革分類	基本方針	1 地域コミュニティ活動の推進			
基本プロジェクト								
目的	町民が地域と触れ合って、交流活動が活発化し、お互いが助け合う住みよい地域社会を実現する。							
PDCA（PD）	PLAN			DO				
	施策の方向性			担当課	取組状況	進捗	進捗平均	
	(1)	運営・活動への支援		総務課	計画調書通り取り組んでいる 100%	100	83.3%	
	取組内容	・行政区長からの行政区活動についての相談等に随時応じ、所管となる部署の紹介、対応策の提案等を行った。 ・区長会及び区長協議会で行政区長の意見交換を実施し、行政区での具体的な取組内容や事業の実施状況等の情報共有を図った。 ・区長会の研修視察を行い、自治会独自の防災・防犯の取組事例を学ぶことにより、各行政区の自主防災・防犯組織の取り組みの参考とすることができた。						
	(2)	活動資金への支援		総務課（企画課）	計画調書通り取り組んでいる 100%	100	× 係数	
	取組内容	・区長会において、「邑楽町地域集会所施設建設事業補助金交付要綱」についての説明を行い、利用できるメニューを示して、交付金利用の推進を図った。 ・個別に相談を受け付け、対象となる交付金の紹介や申請手続きの補助を行った。						
	(3)	地域コミュニティ意識の普及・啓発		総務課	一部取り組んでいる 50%	50	50	
	取組内容	・ふれあいサロンや軽運動等を各行政区で工夫し、地域にあった内容で実施した。集まって楽しむことにより、改めて、人と人とのつながり、地域コミュニティの重要性についての意識向上を図った。 ・邑楽町協働のまちづくり活動支援事業を活用して自治会独自のお祭りを開催し、区民同士や世代間交流をより活発に行い、地域のつながりの強化や地域コミュニティの活性化を図ることができた行政区もあった。						
	(4)						点数	
	取組内容						41.67	
	(5)							
	取組内容							
	(6)							
	取組内容							

令和6年度 邑楽町行政評価シート（邑楽町第六次総合計画後期基本計画・第2期邑楽町まち・ひと・しごと創生総合戦略・第五次邑楽町行政改革大綱 施策評価シート）

DO												
目標①（D）	KPI	担当課	総務課				担当課	総務課				進捗平均
		①	地域集会施設建設事業補助金行政区申請率（延べ）				②	地域の行事や活動に積極的に参加している町民の割合（年間）				100
		策定時	73.5 %				策定時	7.0 %				
		年	目標値	単位	実績値	単位	年	目標値	単位	実績値	単位	
		R3	80.0	%	82.3	%	R3	8.0	%	8.0	%	係数
		R4	85.0		88.2		R4	9.0		9.0		
		R5	90.0		91.2		R5	10.0		9.6		
		R6	95.0		91.2		R6	11.0		13.2		
		R7	100.0	0.0	R7	12.0	0.0	30				
		目標達成状況				目標達成状況				点数		
目標通り達成した 90%以上				A 100	目標通り達成した 90%以上				A 100	30.00		

分析（C）	CHECK		策定委員会評価欄	
	今年度、目標達成に向けてどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。	課題の捉え方	点数	
	【KPI①】・各行政区で集会施設の老朽化が進んでおり、修繕に係る費用が増加傾向になっている。 ・1行政区で複数の集会施設を持つ行政区があり、交付金利用に不利な面がある。 ・改築等を検討したいが、多額の費用が必要となるため検討を進めることができない状況がある。		A～Eの5段階評価 A10点 14 B7.5点 4 C 5点 0 D2.5点 0 E 0点 0	9.44
	【KPI②】・行政区の活動に積極的に参加する住民の高齢化や固定化が進んでいる。 ・少子高齢化の進行、価値観の多様化や生活様式の変化等に伴い、地域活動に参加する住民の減少が進み、住民相互のつながりの希薄化が危惧される。 ・定年延長や再雇用の増加の影響もあり、行政区役員のなり手不足が顕著になってきている。			

改善（A）	ACTION		策定委員会評価欄	
	来年度以降、上記の課題についてどのように改善し、目標達成を目指しますか。	解決・改善の捉え方	点数	
	【KPI①】・交付金の利用希望を事前に把握し、対応できる十分な予算を確保する。 ・複数の施設を持つ行政区が不利にならないような運用方法を検討する。 ・町の補助金と合わせて活用できる他団体の補助金の紹介、手続きのサポート等を行う。		A～Eの5段階評価 A10点 10 B7.5点 8 C 5点 0 D2.5点 0 E 0点 0	8.89
	【KPI②】・行政区を運営する人に過度な負担のかからないような持続可能な行政区の運営方法の調査研究を行う。 ・自治会活動の意義や楽しさを伝えるための広報戦略を立て、多様なメディアと手段を使って情報を発信する。			

評価	取組状況	目標	分析	改善	≡	総合評価(点数)
	41.67点 /50点	30.00点 /30点	9.44点 /10点	8.89点 /10点		90.00点 /100点

令和6年度 邑楽町行政評価シート（邑楽町第六次総合計画後期基本計画・第2期邑楽町まち・ひと・しごと創生総合戦略・第五次邑楽町行政改革大綱 施策評価シート）

総合計画分類	基本目標	基本目標4時代の変化に対応し町民に信頼されるまちづくり	SDGs				
	基本方針	基本方針11町民と歩む協働のまち	 	  		目標1町民と歩む協働のまち	
	基本計画	__38__ 情報共有と町民参画の推進					
総合戦略分類	基本目標	基本目標2 邑楽町への新しい人の流れをつくる	改革分類	基本方針	2 情報共有と町民参画の推進		
	基本プロジェクト	9 情報共有と町民参画の推進					
目的	効果的な広報広聴活動により、町民及び行政が情報を共有し町政への参画機会の充実及び町民の声が反映される町とする。						
PDCA（PD）	PLAN			DO			
	施策の方向性			担当課	取組状況	進捗	進捗平均
	(1)	広報広聴活動の充実		企画課	計画調書通り取り組んでいる 100%	100	91.7%
	取組内容		広報おうちの発行とともに、ホームページへの掲載方法も検討し、効果的な広報活動に努めた。ホームページの内容等については随時見直しを行い、ホームページ作成委員へ指導、助言を行った。広報おうちやホームページを補完するため、エックス、ツイッターやおうちお知らせメールを随時配信し、さらに令和6年9月より町公式LINEの運用を開始し、コンテンツの充実及び幅広い世代への広報周知に努めた。				
	(2)	町の魅力の発信とイメージ向上		企画課	概ね計画調書通り取り組んでいる 75%	75	× 係数
	取組内容		ケーブルテレビにおける自治体広報番組「はっしゃ・邑楽ィ！」や生放送番組「ぐんまHOTステーション」で町のイベントや取り組み、最新情報等を放送して魅力発信に努めた。また、民間調査等による町のイメージ向上に資する内容については、ホームページを活用し情報の周知に努めた。				
	(3)	町政への参画機会の充実		企画課	計画調書通り取り組んでいる 100%	100	50
	取組内容		パブリックコメントを6件実施し、複数のご意見をいただいた。またホームページの問合せフォームや意見箱からの意見・要望を受け、速やかに担当課へ連絡、転送を行い、回答方法などの指導も実施。				
	(4)						点数
	取組内容						45.83
	(5)						
	取組内容						
	(6)						
	取組内容						

令和6年度 邑楽町行政評価シート（邑楽町第六次総合計画後期基本計画・第2期邑楽町まち・ひと・しごと創生総合戦略・第五次邑楽町行政改革大綱 施策評価シート）

DO												
目標①（D）	KPI	担当課	企画課				担当課	企画課				進捗平均
		①	おうらお知らせメール登録者の満足度（年間）				②	パブリックコメント実施における意見数（年間）				87.5
		策定時	0.0 %				策定時	0.0 件				
		年	目標値	単位	実績値	単位	年	目標値	単位	実績値	単位	
		R3	75.0	%	85.0	%	R3	1.0	件	2.0	件	
		R4	85.0		91.6		R4	2.0		0.0		
		R5	90.0		88.7		R5	3.0		0.0		
		R6	95.0		91.5		R6	4.0		18.0		
		R7	100.0		0.0		R7	5.0		0.0		
		目標達成状況					目標達成状況					点数
概ね目標通り達成した 70%以上90%未満				B 75	目標通り達成した 90%以上				A 100	26.25		
CHECK								策定委員会評価欄				
今年度、目標達成に向けてどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。								課題の捉え方		点数		
【KPI①】調査に対する回答率が低いため、全体の総意とは言いがたいところがある。ただし、前年よりも高い評価は出ているので一定程度の評価は得ていると分析している。								A～Eの5段階評価 A10点 2 B7.5点 16 C 5点 0 D2.5点 0 E 0点 0		7.78		
【KPI②】町民の関心度が高い案件であったり、事前に会議でパブリックコメントについての話をしたことが意見の提出につながったと思われる。												
ACTION								策定委員会評価欄				
来年度以降、上記の課題についてどのように改善し、目標達成を目指しますか。								解決・改善の捉え方		点数		
【KPI①】引き続きお知らせメールユーザー向けに調査の趣旨などを事前に周知し、調査への理解を求め、LINE登録者も含めた満足度調査を行うことで回答率を上げる。								A～Eの5段階評価 A10点 4 B7.5点 14 C 5点 0 D2.5点 0 E 0点 0		8.06		
【KPI②】ホームページの新着や町公式LINE等の周知効果の高い各種広報媒体で周知を行い、パブリックコメントを町民の目に触れる機会を増やす。												
評価	取組状況	目標	分析	改善	≡	総合評価(点数)						
	45.83点 /50点	26.25点 /30点	7.78点 /10点	8.06点 /10点		87.92点 /100点						

令和6年度 邑楽町行政評価シート（邑楽町第六次総合計画後期基本計画・第2期邑楽町まち・ひと・しごと創生総合戦略・第五次邑楽町行政改革大綱 施策評価シート）

総合計画分類	基本目標	基本目標4時代の変化に対応し町民に信頼されるまちづくり	SDGs							
	基本方針	基本方針11町民と歩む協働のまち								
	基本計画	__39__ 協働のまちづくりの推進								
総合戦略分類	基本目標	基本目標4 安心して暮らせる魅力的なまちをつくる	改革分類	基本方針	協働のまち					
	基本プロジェクト	26 協働のまちづくりの推進			3 協働のまちづくりの推進					
目的	町民参加の制度及び機会を充実させるとともに、協働による町民の自主的なまちづくり活動を推進する町とする。									
PDCA（PD）	PLAN			DO						
	施策の方向性			担当課	取組状況	進捗	進捗平均			
	(1)	まちづくりの人材育成		生涯学習課	計画調書通り取り組んでいる 100%	100	100.0%			
	取組内容		町民の学習活動を支援するために、社会教育施設ではさまざまな教室や講座を開催した。中央公民館では、事業の企画・運営を町民参画で行うボランティアグループが活動している。また、町内の主婦が中心となって立ち上げた地域町おこしの団体もさまざまな取組を行った。この団体は、県主催の地域づくり講座に自ら参加し、自分たちが取り組んだ事業について県内他団体に向けて情報を発信している。住みやすく楽しい町にしたいという町民によるまちづくりの意識が広まっている。							
	(2)	地域課題の共有化		生涯学習課	計画調書通り取り組んでいる 100%	100	× 係数			
	取組内容		公民館を中核に、世代や立場を超えて地域課題や共生社会の実現について考える地域創造事業等を実施した。勤労者にも学びの場を広く提供するため土・日や夜間の講座も実施した。また、町民団体と企業やNPO法人等と連携し地域課題の情報共有を図りながら課題解決に向けた取組を進めた。							
	(3)	協働のまちづくり活動の推進		企画課	計画調書通り取り組んでいる 100%	100	50			
	取組内容		地域課題の解決に対して、より多くの団体に協働の取組を実施してもらうために広報おうら及び区長会定例会において事業説明を継続実施した。企画課が総合窓口となり事業の所管課を決定、その後は所管課において補助金申請を受け付け、スムーズな事業展開が出来るようサポートを実施した。なお、事務の効率化の観点から補助金の交付は財政係が一元的に行った。12団体が「協働のまちづくり活動支援事業補助金」を活用し、町民の協働による地域課題の課題解決を図った。							
	(4)						点数			
	取組内容							50.00		
	(5)									
	取組内容									
	(6)									
	取組内容									

令和6年度 邑楽町行政評価シート（邑楽町第六次総合計画後期基本計画・第2期邑楽町まち・ひと・しごと創生総合戦略・第五次邑楽町行政改革大綱 施策評価シート）

DO												
目標①（D）	KPI	担当課	生涯学習課				担当課	企画課				進捗平均
		①	地域づくりに資する講座・講演会事業参加者数				②	協働のまちづくり活動支援事業数（年間）				87.5
		策定時	201.0人				策定時	10.0事業				
		年	目標値	単位	実績値	単位	年	目標値	単位	実績値	単位	
		R3	210.0	人	152.0	人	R3	11.0	事業	6.0	事業	
		R4	220.0		503.0		R4	12.0		8.0		
		R5	230.0		534.0		R5	13.0		12.0		
		R6	240.0		373.0		R6	14.0		12.0		
		R7	250.0	0.0	R7	15.0	0.0	26.25				
		目標達成状況				目標達成状況				点数		
目標通り達成した 90%以上				A 100	概ね目標通り達成した 70%以上90%未満				B 75			
分析（C）	CHECK								策定委員会評価欄			
	今年度、目標達成に向けてどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。								課題の捉え方	点数		
	【KPI①】文化芸術の多彩な分野において著名な文化人を講師に招き、多様な事業を実施していることが参加者数の確保につながっている。今後もSNSを活用した情報発信の取組を行い、多くの方が参加しやすくなるような事業の検討が必要である。								A～Eの5段階評価 A10点 10 B7.5点 8 C5点 0 D2.5点 0 E0点 0	8.89		
【KPI②】ここ数年、申請件数は増加傾向にある。今後も利用可能な事業への継続的な再周知を図り、利用団体の拡大に努める必要がある。なお、令和6年度より、ごみ集積所整備事業については、建設環境課における補助事業（令和5年度実績数5件）に切り替えたが、総実績数としては減少をしておらず、その他の事業が増加しているため、当該補助事業は利用拡大されているものとなっている。												
改善（A）	ACTION								策定委員会評価欄			
	来年度以降、上記の課題についてどのように改善し、目標達成を目指しますか。								解決・改善の捉え方	点数		
	【KPI①】今後も企業やNPOと連携しながら、町民によるまちづくりについて意識を高めることのできる講座や講演会の開催に取り組む必要がある。また、普段は個々に活動している地域づくり団体をネットワーク化する取組を行い、情報共有を図りながら各団体が今後の活動に生かせる方法を探る場を提供していく。								A～Eの5段階評価 A10点 9 B7.5点 9 C5点 0 D2.5点 0 E0点 0	8.75		
【KPI②】邑楽町協働のまちづくり活動支援事業の取組団体に対して、自立して継続的な活動ができるよう、経営的視点の助言や各種助成制度などの情報提供を行う。また、広報紙やホームページなどで事業周知を引き続き図っていくとともに、区長会などの団体の会議においても継続して説明を行い、町民への協働参加を呼びかける。												
評価	取組状況	目標	分析	改善	≡	総合評価（点数）						
	50.00点 /50点	26.25点 /30点	8.89点 /10点	8.75点 /10点		93.89点 /100点						

令和6年度 邑楽町行政評価シート（邑楽町第六次総合計画後期基本計画・第2期邑楽町まち・ひと・しごと創生総合戦略・第五次邑楽町行政改革大綱 施策評価シート）

総合計画分類	基本目標	基本目標4時代の変化に対応し町民に信頼されるまちづくり	SDGs				
	基本方針	基本方針12信頼に応える行財政運営のまち					
	基本計画	__40__ICT__情報通信技術__の推進					
総合戦略分類	基本目標		改革分類	基本方針	4 ICT(情報通信技術)の推進		
基本プロジェクト							
目的	ICT(情報通信技術)を活用し、迅速かつ効率的な事務執行を図るとともに、より質の高い行政サービスを提供する町を目指す。						
PDCA(PD)	PLAN			DO			
	施策の方向性			担当課	取組状況	進捗	進捗平均
	(1)	行政サービスの近代化・効率化		企画課	計画調書通り取り組んでいる 100%	100	93.8%
	取組内容	令和元年度から電子申請システムの運営管理を行い、令和6年度は取り扱い案件を109件まで拡充。申請件数は9,571件だった。 令和2年度から地理情報システムの運営管理を行い、公開型においては5つの情報を公開している。 令和6年度から町公式LINEを開始し、周知の強化を図った。					
	(2)	行政事務の近代化・効率化		企画課	計画調書通り取り組んでいる 100%	100	× 係数
	取組内容	群馬県で開催されたDX、業務効率化に係る会議に積極的に参加して情報収集に努めた。 文書管理・電子決裁システムの導入に向けて行政事務近代化推進委員会を活用して議論を進めた。 令和7年12月に予定されている基幹系システム標準化の安定移行を目指して業者と打ち合わせを行った。					50
	(3)	情報セキュリティ体制の強化		企画課	計画調書通り取り組んでいる 100%	100	
	取組内容	令和4年4月より第二次セキュリティクラウドへ移行。引き続き安定した接続、物理的セキュリティレベルの維持を図っている。 新入職員向けの研修で情報セキュリティの重要性を説明した。 適宜、記録媒体や電子機器の取り扱いについて指導を行った。					
	(4)	情報教育の推進		生涯学習課(企画課)	概ね計画調書通り取り組んでいる 75%	75	点数
	取組内容	町民を対象としたパソコン講習会(IT講習会)を年間通して開催し、広く町民に向けて情報教育の推進を図った。 また、職員向けにワードやエクセル、オンライン手続きに関する操作説明会を開催し、職員のパソコンスキルの向上に努めた。					46.88
	(5)						
	取組内容						
	(6)						
	取組内容						

令和6年度 邑楽町行政評価シート（邑楽町第六次総合計画後期基本計画・第2期邑楽町まち・ひと・しごと創生総合戦略・第五次邑楽町行政改革大綱 施策評価シート）

DO												
目標①（D）	KPI	担当課	企画課				担当課	企画課				進捗平均
		①	町ホームページを利用したオンライン申請数（年間）				②	地図情報のシステム化（公開型GISの導入）による、窓口業務の地図情報の交付数				100
		策定時	83.0 件				策定時	175.0 件				
		年	目標値	単位	実績値	単位	年	目標値	単位	実績値	単位	
		R3	100.0	件	247.0	件	R3	170.0	件	167.0	件	
		R4	150.0		1098.0		R4	150.0		132.0		
		R5	200.0		2599.0		R5	130.0		123.0		
		R6	247.0		9571.0		R6	110.0		83.0		
		R7	300.0	0.0	R7	90.0	0.0	係数	30			
		目標達成状況				目標達成状況				点数		
目標通り達成した 90%以上				A 100	目標通り達成した 90%以上				A 100	30.00		

分析（C）	CHECK								策定委員会評価欄	
	今年度、目標達成に向けてどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。								課題の捉え方	点数
	【KPI①】一部の課が複数案件をあげていることが多く、偏りがある。横断的に他課もオンライン申請の案件を増加させる働きかけが必要である。								A～Eの5段階評価 A10点 11 B7.5点 7 C 5点 0 D2.5点 0 E 0点 0	9.03
【KPI②】徐々に窓口での交付数は減ってきているが、今後もさらなる減少を目指して、周知を引き続きおこなう必要がある。										

改善（A）	ACTION								策定委員会評価欄	
	来年度以降、上記の課題についてどのように改善し、目標達成を目指しますか。								解決・改善の捉え方	点数
	【KPI①】職員向けに「何の業務で使えるか？」等のユースケースの提供及び研修を複数回開催し、特に実績の無いあるいは少ない課への働きかけを強化する。 また、町民に対しては広報おうら内の2次元コードや町公式LINEを利用し、電子申請への誘導を行うことで利用促進を図る。								A～Eの5段階評価 A10点 8 B7.5点 10 C 5点 0 D2.5点 0 E 0点 0	8.61
【KPI②】公開できる情報数を増やすとともに、必要としている人に情報公開していることの情報が届くよう、SNS等を活用した情報発信の強化を図る。										

評価	取組状況	目標	分析	改善	≡	総合評価（点数）
	46.88点 /50点	30.00点 /30点	9.03点 /10点	8.61点 /10点		94.52点 /100点

令和6年度 邑楽町行政評価シート（邑楽町第六次総合計画後期基本計画・第2期邑楽町まち・ひと・しごと創生総合戦略・第五次邑楽町行政改革大綱 施策評価シート）

総合計画分類	基本目標	基本目標4時代の変化に対応し町民に信頼されるまちづくり	SDGs					
	基本方針	基本方針12信頼に応える行財政運営のまち						
	基本計画	__41__ 効率・効果的な行政運営の推進						
総合戦略分類	基本目標		改革分類	基本方針	2信頼に応える行財政運営のまち			
	基本プロジェクト				5 効率・効果的な行政運営の推進			
目的	時代に適応した組織体制の構築及び職員の資質向上により組織力を高めるとともに、施設の適正な管理及び事業の選択と集中による効率的かつ効果的な行政運営を実現する。							
PDCA（PD）	PLAN			DO				
	施策の方向性			担当課	取組状況	進捗	進捗平均	
	(1)	計画的な事業の執行と行政評価の推進		企画課	計画調書通り取り組んでいる 100%	100	87.5%	
	取組内容		総合計画・総合戦略・行政改革の進捗管理を実施した。また、事業成果等について策定委員会の委員等により内部評価を行い事業のブラッシュアップを図った。 結果については、町ホームページにおいて公表し進捗管理の周知を図った。 また、予算計上には、総合計画の施策方向性との関連付けを実施し、総合計画との連動性を図った。					
	(2)	機能的な組織の構築と職員の資質向上		総務課（企画課）	概ね計画調書通り取り組んでいる 75%	75	× 係数	
	取組内容		令和4年度に実施した機構改革後における組織体制の事後検証や各職場環境の状況を踏まえ、必要な人員配置等を行った。また、引き続き町及び県等が主催する職員研修の機会を数多く設け、多様化する住民ニーズに柔軟に対応できる職員を育成した。					
	(3)	時代の要請に対応した行政サービスの展開		企画課（全課）	概ね計画調書通り取り組んでいる 75%	75	50	
	取組内容		・各種行政手続き（各種検診等）について電子申請システムを活用し、申請手続き簡略化を図り、町民の利便性の向上に合わせ事務の効率化を図った。					
	(4)	公共施設の適正な管理		財政課	計画調書通り取り組んでいる 100%	100	点数	
	取組内容		「邑楽町建物系公共施設個別施設計画」に基づいた改修工事を行った。財源については、国庫補助の積極的な活用及び交付税措置のある有利な起債（防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債、公共施設等適正管理推進事業債等）を充当することが出来た。					
	(5)						43.75	
	取組内容							
	(6)							
	取組内容							

令和6年度 邑楽町行政評価シート（邑楽町第六次総合計画後期基本計画・第2期邑楽町まち・ひと・しごと創生総合戦略・第五次邑楽町行政改革大綱 施策評価シート）

DO												
目標①（D）	KPI	担当課	総務課				担当課	企画課				進捗平均
		①	職員研修参加者数（年間延べ）				②	KPI（重要業績評価指標）平均達成率				62.5
		策定時	455.0 人				策定時	82.4 %				
		年	目標値	単位	実績値	単位	年	目標値	単位	実績値	単位	
		R3	600.0	人	218.0	人	R3	100.0	%	80.2	%	係数
		R4	620.0		225.0		R4	100.0		82.7		
		R5	640.0		509.0		R5	100.0		83.3		
		R6	660.0		394.0		R6	100.0		82.8		
		R7	680.0		0.0		R7	100.0		0.0		
		目標達成状況					目標達成状況					点数
一部達成した 50%以上70%未満				C 50	概ね目標通り達成した 70%以上90%未満				B 75	18.75		
分析（C）	CHECK								策定委員会評価欄			
	今年度、目標達成に向けてどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。								課題の捉え方	点数		
	【KPI①】 前年度に引き続き、職員研修の参加機会を数多く設けたうえで積極的な参加を促しが、想定よりも参加者数が伸びず、目標値を大きく下回る結果となってしまった。 今後も研修内容の精査をはじめ、開催方法や開催時期等の検討を行う必要がある。 【KPI②】コロナ禍の影響により縮小または中止されていた事業が再開されたことにより、昨年度よりKPI平均達成率は上昇した。								A～Eの5段階評価 A10点 0 B7.5点 18 C 5点 0 D2.5点 0 E 0点 0	7.50		
改善（A）	ACTION								策定委員会評価欄			
	来年度以降、上記の課題についてどのように改善し、目標達成を目指しますか。								解決・改善の捉え方	点数		
	【KPI①】 ・対面研修を中心としながら、オンライン及びオンデマンドなどの方法で開催される研修も積極的に利用し、職員への周知及び参加を促す。 ・毎年研修の基本計画を更新し、社会情勢や職場の状況に応じた、また職員の能力向上を図るための最適な研修内容を盛り込む。 ・今後の働き方や職場（業務）改善に繋がる研修機会を増やしていく。 【KPI②】コロナ禍において、実施方法等に制限があった事業の再開に合わせて、事業の見直しや実施方法を再検討し、さらなる目標達成率の向上を目指す。また、進捗率の管理をすることに合わせ、目標を明確にし実施状況を分析するとともに改善策を同時に検討する。								A～Eの5段階評価 A10点 7 B7.5点 11 C 5点 0 D2.5点 0 E 0点 0	8.47		
評価	取組状況	目標	分析	改善	＝	総合評価（点数）						
	43.75点 /50点	18.75点 /30点	7.50点 /10点	8.47点 /10点		78.47点 /100点						

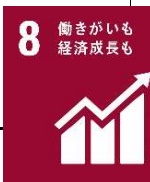
令和6年度 邑楽町行政評価シート（邑楽町第六次総合計画後期基本計画・第2期邑楽町まち・ひと・しごと創生総合戦略・第五次邑楽町行政改革大綱 施策評価シート）

総合計画分類	基本目標	基本目標4時代の変化に対応し町民に信頼されるまちづくり	SDGs					
	基本方針	基本方針12信頼に応える行財政運営のまち						
	基本計画	__42__財政運営の健全性の確保						
総合戦略分類	基本目標	基本目標4 安心して暮らせる魅力的なまちをつくる	改革分類	基本方針	6 財政運営の健全性の確保			
	基本プロジェクト	27 財政運営の健全性の確保						
目的	社会経済情勢の変化及び本町の実情に対応し、中長期的な展望に立った健全で計画的な財政運営を行う町とする。							
PDCA（PD）	PLAN			DO				
	施策の方向性			担当課	取組状況	進捗	進捗平均	
	(1)	計画的な財政運営		財政課	概ね計画調書通り取り組んでいる 75%	75	81.3%	
	取組内容	限られた財源の中ではあるが、経常経費の個別査定を行い適正な予算配分を行った。また、「邑楽町建物系公共施設個別施設計画」に基づき、公共施設の長寿命化を行い予算の平準化及び適正管理に努めた。令和5年度から交付されている物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を有効活用し、物価高騰対策などを積極的に行った。						
	(2)	財源(歳入)の確保		税務課(財政・企画)	概ね計画調書通り取り組んでいる 75%	75	× 係数	
	取組内容	住民税の特別徴収義務者の数が前年度と比較して、1.2%増加した。また、事業者へは納付手続きを電子的に行うことができる共通納税の勧奨にも努めた。一方で町税を滞納する者に対しては、定期的な文書催告、預貯金や給与等の差押を行うことで、滞納額の圧縮と財源確保に努めた。						
	(3)	公有財産の適正管理		財政課(会計課)	計画調書通り取り組んでいる 100%	100	50	
	取組内容	未利用の公有財産の一部を貸付け、有効活用を行った。普通財産の売り払いを行う事が出来た。						
	(4)	経費の削減と使用料の適正化		財政課	概ね計画調書通り取り組んでいる 75%	75	40.63	
	取組内容	入札のうち約7割を電子入札システムにより執行し、事務効率の向上を図った。役場庁舎において、少額の消耗品でも見積もり合わせや消耗品の一括発注などにより事務的経費の削減に努めた。補助金審査委員会を開催し、補助金の対象者や内容などについて精査し適正な補助金制度の執行に努めた。						
	(5)							
	取組内容							
	(6)							
	取組内容							

令和6年度 邑楽町行政評価シート（邑楽町第六次総合計画後期基本計画・第2期邑楽町まち・ひと・しごと創生総合戦略・第五次邑楽町行政改革大綱 施策評価シート）

DO												
目標①（D）	KPI	担当課	税務課				担当課	財政課				進捗平均
		①	収納率				②	実質公債費比率				100
		策定時	94.1 %				策定時	6.7 %				
		年	目標値	単位	実績値	単位	年	目標値	単位	実績値	単位	
		R3	94.2	%	94.6	%	R3	6.7	%	6.4	%	係数
		R4	94.3		95.2		R4	6.7		6.7		
		R5	94.5		95.7		R5	6.6		6.8		
		R6	94.8		95.3		R6	6.6		6.6		
		R7	95.0		0.0		R7	6.5		0.0		30
		目標達成状況					目標達成状況					
目標通り達成した 90%以上				A 100	目標通り達成した 90%以上				A 100	30.00		
分析（C）	CHECK								策定委員会評価欄			
	今年度、目標達成に向けてどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。								課題の捉え方	点数		
	【KPI①】従業員が退職した際の事業者による一括徴収について、制度の周知が図られていない。また、退職後に国外へ転出してしまいう外国人が、納税管理人を設定しないまま帰国してしまい、そのまま完納せずに滞納につながったケースもあった。								A～Eの5段階評価 A10点 14 B7.5点 4 C 5点 0 D2.5点 0 E 0点 0	9.44		
【KPI②】3年平均の実質公債費比率について、令和6年度の目標値を達成した。令和6年度については、単年度の実質公債費比率は6.0となっており、令和4年度から令和6年度の3年平均の最小値となっている。大きな増減が無く平準化することが個別施設計画の目的でもある為、今後も工事内容等も考慮しながら起債額の平準化に取り組んで行く必要がある。												
改善（A）	ACTION								策定委員会評価欄			
	来年度以降、上記の課題についてどのように改善し、目標達成を目指しますか。								解決・改善の捉え方	点数		
	【KPI①】事業者を通じた特別徴収で滞納リスクを下げるので、従業員の退職時については一括徴収を勧奨する。また、給与支払報告書総括表や特別徴収の税額通知書発送など、事業所へは都度、制度周知のチラシを同封する。一方で外国人従業員が帰国する際は、納税管理人の選任なども勧奨する。								A～Eの5段階評価 A10点 14 B7.5点 4 C 5点 0 D2.5点 0 E 0点 0	9.44		
【KPI②】公共施設の老朽化は町財政運営にとっても大きな課題である。邑楽町建物系施設個別施設計画を基に長期的な視点で、施設の維持管理を行う必要がある。事業執行にあたっては、計画的な事業運営を行うとともに、国庫補助の有効活用や交付税参入率の高い起債の借入を行いながら、起債総額の削減と平準化に取り組む。												
評価	取組状況	目標	分析	改善	≡	総合評価(点数)						
	40.63点 /50点	30.00点 /30点	9.44点 /10点	9.44点 /10点		89.51点 /100点						

令和6年度 邑楽町行政評価シート（邑楽町第六次総合計画後期基本計画・第2期邑楽町まち・ひと・しごと創生総合戦略・第五次邑楽町行政改革大綱 施策評価シート）

総合計画分類	基本目標	基本目標4時代の変化に対応し町民に信頼されるまちづくり	SDGs						
	基本方針	基本方針12信頼に応える行財政運営のまち							
	基本計画	__43__ 広域行政の推進							
総合戦略分類	基本目標	基本目標2 邑楽町への新しい人の流れをつくる	改革分類	基本方針				7 広域行政の推進	
	基本プロジェクト	10 広域行政の推進							
目的	広域化する町民ニーズに対して、町域を越えた行政サービスの向上及び課題解決に向けた広域的視点に立った体制を整える。								
PDCA（PD）	PLAN			DO					
	施策の方向性			担当課	取組状況	進捗	進捗平均		
	(1)	事務組合の推進と強化		建設環境課（総務・健づ）	計画調書通り取り組んでいる 100%	100	91.7%		
	取組内容	太田市外三町広域清掃組合の運営は、定期的な担当者会議及び幹事会を開催し、必要な情報共有が図れており、クリーンプラザも問題なく稼働している。 あわせて、太田市外三町広域斎場整備も令和8年の供用開始に向けて順調に進捗している。 大泉外二町環境衛生施設組合においても定期的な担当者会議を開催し、情報共有や協議を行っている。							
	(2)	広域協議会などによる継続的連携		企画課	概ね計画調書通り取り組んでいる 75%	75	× 係数		
	取組内容	両毛広域都市圏総合整備推進協議会では、令和4年度から再開した「りょうもうグルメスタンプラリー」を継続実施した。なお、コロナ禍を契機としてデジタル対応を取り入れて実施した。また、公共施設の相互利用においては、コロナ禍により減少していた相互利用者数が回復してきている結果となった。 その他の広域行政を担う協議会等においては、関係市町との連携を継続した。特に利根川新橋建設促進期成同盟会では、関係市町との連携強化を図り、国・県への積極的な要望活動に取り組んだ。							
	(3)	広域化による新たな連携		企画課（総務課）	計画調書通り取り組んでいる 100%	100	50		
	取組内容	多様化・複雑化する町民ニーズに対応するため、町と地方創生及び地域活性化等を目的として邑楽町地方創生包括連携協定を民間企業等と締結している。令和5年度に引き続き、8社の連携事業者による様々な事業において実績があった。移住定住者の増加に向け、県や近隣市町と情報交換を実施し、広域的な取組として移住に関するPRを行った。各一部事務組合、広域連合では行政事務の効率化に努め、共同で行っているごみ処理や医療など地域住民の安全安心な暮らしを守るための行政サービスを実施した。							
	(4)						点数		
	取組内容						45.83		
	(5)								
	取組内容								
	(6)								
	取組内容								

令和6年度 邑楽町行政評価シート（邑楽町第六次総合計画後期基本計画・第2期邑楽町まち・ひと・しごと創生総合戦略・第五次邑楽町行政改革大綱 施策評価シート）

DO												
目標①（D）	KPI	担当課	企画課				担当課	企画課				進捗平均
		①	両毛地域内の施設を他市町民が利用した割合（統計の関係上2年前の数値）				②	他自治体や民間との協定締結による年間事業実施数				75
		策定時	3.3 %				策定時	2.0 件				
		年	目標値	単位	実績値	単位	年	目標値	単位	実績値	単位	
		R3	3.4	%	2.5	%	R3	3.0	件	19.0	件	係数
		R4	3.5		3.4		R4	4.0		40.0		
		R5	3.6		2.7		R5	5.0		34.0		
		R6	3.7		2.6		R6	6.0		36.0		
		R7	3.8		0.0		R7	7.0		0.0		30
		目標達成状況				目標達成状況				点数		
一部達成した 50%以上70%未満				C 50	目標通り達成した 90%以上				A 100	22.50		
分析（C）	CHECK								策定委員会評価欄			
	今年度、目標達成に向けてどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。								課題の捉え方	点数		
	【KPI①】広域協議会及び近隣市町と連携し、公共施設相互利用に関する情報発信及び施設側の受け入れ体制の充実にに向けた取り組みを継続的に推進する必要がある。 【KPI②】包括連携協定を締結したことが目的ではなく、さらに町民にとっての利益あわせて企業・団体にとっての利益のための行動が必要となる。また、取り組みを一過性に終わらせることなく継続性を持たせることが重要である。								A～Eの5段階評価 A10点 5 B7.5点 13 C 5点 0 D2.5点 0 E 0点 0	8.19		
改善（A）	ACTION								策定委員会評価欄			
	来年度以降、上記の課題についてどのように改善し、目標達成を目指しますか。								解決・改善の捉え方	点数		
	【KPI①】広域協議会及び近隣市町と連携し、協議会HPで公共施設相互利用に関する情報発信に合わせて地域イベントの周知を図ることにより、相互利用の利用促進を図る。 【KPI②】会員間の情報共有、相互啓発及び連携強化に関する活動を調整していく地方創生包括連携協定プラットフォーム会議を通じて、本町の取り組みへの支援や協力を仰ぎ、民間の提案事業も加えながら更なる町民サービスの充実を図る（令和4年4月より実施）。また、協働内容の幅を広げるために、新たな企業との連携について検討を進める。								A～Eの5段階評価 A10点 11 B7.5点 7 C 5点 0 D2.5点 0 E 0点 0	9.03		
評価	取組状況	目標	分析	改善	≡	総合評価（点数）						
	45.83点 /50点	22.50点 /30点	8.19点 /10点	9.03点 /10点		85.55点 /100点						